

1. 授業の概要(ねらい)

医学の基礎は正常な体の構造と機能を知り、病気を理解することである。現代社会は、多くの病気が存在し、その原因はウイルス、細菌、又、カビであったり、生活習慣によるものや、人為的に作り出された物質によるものであったりする。病気では、人体を作る細胞の1個1個がどのような形で破壊されていくのか、そして、「死」という終着駅に向かうのか? この授業では、人体の構造と機能を概説した後、「病気」の概要を理解することが目標である。

2. 授業の到達目標

人体の器官の構造を理解し、解剖用語を用いて説明できる。また、先天異常、代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍といった疾患の定義やその中に含まれる疾患について、個々の細胞や臓器の病的変化が説明出できることを目的とする。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験は最終講義日に、筆記試験を行い、成績を評価する。
授業態度(雑談、居眠り等)は減点の対象とする。

4. 教科書・参考文献

教科書

藤田恒夫 『入門人体解剖学』 南江堂

参考文献

安谷屋均 NEW病気のしくみとなりたち SENKOSHA

5. 準備学修の内容

講義をうけたら必ずその日に復習をすることが重要である。指定した教科書の次回授業部分を事前に読んでおくこと。受けた講義はその日に復習し、特に解剖学用語や図は書いて(描いて)覚えること。

6. その他履修上の注意事項

全体の把握が必要であるため、必ず出席すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 総論①:細胞について細胞の構造と細胞周期を説明できる。
- 【第2回】 運動器:骨格系と筋系について図示して説明出来る。
- 【第3回】 胸部内臓:循環器、呼吸器について図示して説明出来る。
- 【第4回】 腹部内臓:消化器について図示して説明出来る。
- 【第5回】 骨盤内臓:泌尿生殖器について図示して説明出来る。
- 【第6回】 神経:中枢神経について図示して説明出来る。
- 【第7回】 総論②:病気の内因と外因等病因を説明できる。
- 【第8回】 細胞損傷:細胞の死と再生について説明できる
- 【第9回】 代謝障害:代謝の基本と糖、脂質の代謝異常およびタンパク質、核酸、カルシウム、色素代謝異常について説明できる。
- 【第10回】 循環障害:体液と循環異常 血管の閉塞とショックおよび
- 【第11回】 腫瘍:腫瘍の原因と分類および悪性腫瘍の転移について説明できる。
- 【第12回】 炎症:炎症の原因と経過およびメカニズムについて説明できる。
- 【第13回】 免疫の異常について説明できる。
- 【第14回】 感染と病原性微生物について説明できる
- 【第15回】 総括と小テスト